



Press Release
HBC 北海道放送株式会社

※「ガッチャンコ」とは…
「くっつける」「ひとつになる」という意味で使われる言葉。
HBCが、人と人、地域と地域を「つなぐ」存在でありたい
という願いがこめられています。

2021年4月30日

第58回ギャラクシー賞

HBC 2部門で3作品・報道活動が奨励賞

「ヤジと民主主義～小さな自由が排除された先に～」
「今日ドキッ！報道スペシャル
核と民主主義～マチを分断させたのは誰か～」
シリーズ「戦後75年 北海道と戦争」

HBC北海道放送が放送したドキュメンタリー「ヤジと民主主義～小さな自由が排除された先に～」と「今日ドキッ！報道スペシャル 核と民主主義～マチを分断させたのは誰か～」、それに報道活動「シリーズ『戦後75年 北海道と戦争』」が第58回ギャラクシー賞(主催 放送批評懇談会)テレビ部門、報道活動部門で奨励賞を受賞しました。

テレビ部門 奨励賞

【番組名】「ヤジと民主主義～小さな自由が排除された先に～」
【放送日時】2020年4月26日(日) 午後2時～午後2時57分
【内容】

2019年7月15日、札幌での安倍首相の応援演説で、「安倍やめろ」とヤジを飛ばした男性が警察官に排除された。さらに「増税反対」と声を上げた女子大生も同様だった。

その日排除されたのは声を上げた人だけではなく、無言でプラカードを掲げた人もいた。プラカードを掲げられなかった女性はこう語る。「無言でプラカードを掲げるというのは、誰にでもある権利。弱者ができる唯一の一人だけでできることを奪う国は、民主主義ではない」。

かつて日本では言論の自由が抑圧されていた時代があった。治安維持法によって、思想の自由さえも奪われていたのだ。声に出した中身や無言で掲げるプラカードの内容によって、排除の対象にされてしまう。あの日の札幌では、過ぎ去ったはずの時代のように民主主義が大きく制限されていたのではないだろうか。



テレビ部門 奨励賞

【番組名】「今日ドキッ！報道スペシャル核と民主主義～マチを分断させたのは誰か～」
【放送日時】2021年3月14日(日)午後4時24分～4時54分
【内容】

住民の代表であるはずの議会が、住民の声を聞くことを否決した。

北海道・寿都町。日本海の強い風を活かした国内初の町営風力発電所が、まちの大きな財源だ。しかし、約2900人の人口は、今後も減少が見込まれていて、財政の見通しも厳しい。

去年8月、町長が、「核のごみ」の最終処分場の受け入れ調査への応募を検討していると明らかにした。突然全国の注目を浴び、混乱した住民は、分断していく。小さなまちの密接な人間関係の中で、多くの住民は声を潜めた。その中で、一部の住民が、行政に任せきりだったこれまでを反省し、声を上げ始めた。

「肌感覚では賛成が多い」と突き進む町長に、反対派の住民たちは、「正確な民意を反映してほしい」と住民投票を求める。しかし、議会はあっさりとは否決した。住民の不安を置き去りにして、去年11月、文献調査は始まった。

冷たい風に晒される冬。報道陣もいなくなり、閑散としたまちで、町議会議員の解職請求を求め署名活動をしたり、話し合いを求め続けたりする住民たちがいた。

10年前に起きた東日本大震災でいったん止まった原子力発電所。しかし「核のごみ」の最終処分地が決まらないまま、全国で再稼働が進む。国の原子力政策にとって重要な核のごみの処分が、国民的議論がまったく進まないまま北海道の過疎のマチの問題として進む。しかも議会は住民の声を聞こうともせず、住民どうしの分断が深まったまま。「核のごみ」問題を通して民主主義のありようを問う。

報道活動部門 奨励賞

【番組名】 シリーズ「戦後75年 北海道と戦争」

【放送日時】 2020年7月1日(水)～2020年12月30日

【内容】

日本だけで300万人以上の犠牲者を出した第2次世界大戦。北海道からも多くの人が出征し、遠い戦地で命を落としました。空襲の被害に遭った人、北方領土など故郷を奪われた人もいます。しかし戦争体験者が次々と世を去り、戦争を語り継ぐことが難しくなっています。2020年は新型コロナウイルスの影響で、毎年行われる慰霊祭や記念行事が縮小・中止に追い込まれました。戦争がますます遠くなり、そして忘れ去られていきます。戦争の愚かさや悲惨さは、その体験者を取材することで実感し、記者は実相を知ることができます。しかし、戦後企画の放送が年を追うごとに減ってきており、取材経験のない記者が増えています。戦争体験者がどんどん亡くなるなか、直接取材できる最後の世代が私たちかもしれません。戦争の悲惨な現実を忘れたときには人は同じ過ちを繰り返します。次世代に平和な社会を引き継ぐため、戦後75年の節目の年に地方局として何をどうやって取り組むべきか。「北海道と戦争」を記者とともに考えました。取材にあたった記者は18人。最年少は1997年生まれの22歳。放送は26回に上りました。



受賞番組はHBC公式YouTubeチャンネル「もんすけTV」で視聴できます

◆「ヤジと民主主義～小さな自由が奪われた先に～」

<https://www.hbc.co.jp/tv/yaji-democracy/>

◆今日ドキッ！報道スペシャル「核と見主主義 マチを分断させたのは誰か」

<https://www.hbc.co.jp/tv/nuclear-democracy/>

◆シリーズ「戦後75年 北海道と戦争」

https://www.hbc.co.jp/info/post_war75/

◆お問い合わせ：HBC北海道放送社長室広報CSR部

(TEL:011-232-5821)